

# 公共交通シンポジウム 白川町東白川村共同宣言

皆様、本日は「地域公共交通シンポジウム 2026」にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

私たちの地域を長年支え続けてくださった濃飛バスの美濃白川管理所が、令和9年3月末をもってその歴史に幕を下ろすこととなりました。

まずは、今日まで雨の日も風の日も、私たちの「生活の足」を安全に守り抜いてくださった濃飛バスの皆様に、この場をお借りして心より感謝を申し上げます。

この管理所廃止という知らせは、私たちにとって大きな衝撃であり、将来への不安を感じた方も少なくないでしょう。しかし、私たちはこの転換点を、決して「衰退」や「おわり」とは捉えていません。

むしろ、これからの白川町と東白川村にとって、より自由で、より温かい移動のカタチを自らの手で創り出す「新しい始まり」であると確信しています。

白川町と東白川村は、行政の垣根を越えて固くタッグを組み、この地域の公共交通網を、責任を持って堅持し、守り抜くことをここに宣言します。

私たちが守りたいのは、バスに乗って会いたい人に会いに行く喜び、住み慣れた家で最期まで暮らし続けられる安心、そして、子供たちが広い世界へと羽ばたくための夢。そうした、移動の先にある一人ひとりの「幸せ」や「笑顔」を運ぶことこそが、公共交通の真の役割だと考えています。

公共交通は、この町で生きていくための「まちづくりの基盤」です。

医療、福祉、商工、そして子育て。あらゆる分野が「おでかけ」を軸につながることで、この地域にさらなる活気と笑顔を広げてまいります。

おでかけから始まる、新しい「地域の幸せ」を、皆様と共に創り上げていけることを願っております。

令和8年7月4日

白川町長 佐伯正貴

東白川村長 桂川憲生

Local Public Transport Symposium

暮らしと笑顔を共にささえる地域交通

# 地域公共交通 シンポジウム

2026

7月4日(土) 13:00-15:30

会場：白川町役場2階大会議室・特設会場

加茂郡白川町河岐1705番地2

主催：白川・東白川地域公共交通活性化協議会



# おでかけしらかわ・ひがししらかわ 地域公共交通シンポジウム 2026

## 【メインテーマ】

「つなぐ、運ぶ、このまちの幸せ。おでかけから始まる、豊かな暮らしのカたち」  
～みんなの乗り物、みんなの目的地。まち全体を「お出かけの拠点」にする～

---

## 1. 開催概要

- 日時: 令和8年7月4日(土) 13:00 ~ 15:30
  - 会場: 白川町役場 新庁舎 2階大会議室(1階パブリックビューイング)
  - 主催: 白川・東白川地域公共交通活性化協議会
- 

## 2. シンポジウム・プログラム(13:00 ~ 15:20)

「公共交通を『まちづくりの基盤』と捉え直し、地域の幸せを共に考える」

### ① 開会・地域公共交通共同宣言

白川町長、東白川村長による、「暮らしの足」を担う共同宣言

### ② 基調講演

- テーマ: これからの地域交通を考える  
—くらしとおでかけを支える仕組みづくり—
- 講師: 吉田 樹(よしだ いつき)氏(福島大学 経済経営学類 教授)

### ③ パネルディスカッション

- テーマ: 「暮らしと笑顔を共にささえる地域交通」
  - コーディネーター: 加藤 博和(かとう ひろかず)氏(名古屋大学大学院 教授)
  - パネリスト(地域の次世代リーダー):
    1. 松山 良悟 氏(白川町社会福祉協議会: 福祉)
    2. 尾関 幸 氏(シェアリビング日和子ども食堂: 子育て)
    3. 野尻 基 氏(白川病院 院長: 医療)
    4. 渡辺 靖代 氏(一社スポーツリンク白川: スポーツ)
    5. 山口 直樹 氏(地域通貨ShiRaCa運営協議会: 商工)
    6. 塩月 祥子 氏(グリーンツーリズム協議会: 観光)
-

### 3. 講師・コーディネーター プロフィール

#### 【基調講演 講師プロフィール】

吉田 樹(よしだ いつき)氏



福島大学 経済経営学類 教授 前橋工科大学 学術研究院 特任教授

- 経歴・現職:千葉県松戸市生まれ。東京都立大学大学院都市科学研究科博士課程修了、博士(都市科学)。首都大学東京助教、福島大学准教授等を経て2024年より現職。クロスアポイントメント制度により、前橋工科大学特任教授も務める。
- 専門分野:地域交通政策、地域観光政策、地域経済論。
- 主な活動:国土交通省交通政策審議会交通体系分科会地域公共交通部会臨時委員。東北・関東を中心に全国約40地域の公共交通政策に携わり、「現場での実践」に基づく理論構築に努めている。前橋市のデジタルグリーンシティアーキテクトとしても活動。
- 受賞歴・著書:主な著書に『生活支援の地域公共交通』(学芸出版社)があり、第35回交通図書賞(第一部:経済・経営部門)を受賞している。

#### 【パネルディスカッション コーディネータープロフィール】

加藤 博和(かとう ひろかず)氏



名古屋大学大学院 環境学研究科 教授  
附属持続的共発展教育研究センター長

- 経歴・現職:1970年岐阜県多治見市生まれ。名古屋大学大学院工学研究科修了、博士(工学)。名古屋大学の教員として29年目を迎え、現在は同大学持続的共発展教育研究センター長を務めるほか、滋賀大学特別招へい教授なども兼任。
- 専門分野:地域公共交通戦略、脱炭素都市・交通戦略、ライフサイクルアセスメント(LCA)。
- 主な活動:国土交通省交通政策審議会委員などの要職を歴任し、国の公共交通政策をリードする第一人者。徹底した「現場主義」を貫き、自ら全国各地の公共交通の現場に足を運び、地域住民や自治体に寄り添った再生プロセスを支援している。
- 地域との関わり:白川町・東白川村公共交通戦略特命監。全国の交通政策を担う人材を育成する「地域公共交通コーディネーター・プロデューサー養成プロジェクト」の代表も務める。